

## ○初回受診の流れ

受診の際は、精神科医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士がご対応いたします。

- ・初回受診枠：完全予約制  
月曜日10時半・11時半  
水曜日9時半・10時半  
木曜日9時半・10時半

### 1) 初回受診の予約

受付：平日午前8時30分～午後5時  
電話：046-848-1550 (代表)

\*予約担当におつなぎします

### 2) 初診・・・インテーク (予診) ⇒ 医師診察

診察前に精神保健福祉士らがお話を伺います

### 3) 通院・・・初回の診察をふまえて、心理検査や各種プログラム、カウンセリング、患者交流会などのご提案をします。またご家族へは、家族会のご案内などをいたします。

## ○治療費について

※保険証をお持ちください。診察は、保険適用になります。

《費用について ～3割負担の方の目安～》

\*治療内容・各種検査項目などで異なります

- ・外来初診時 およそ2500円+検査費  
2回目の各種検査費込み およそ8000円  
3回目以降 およそ1500円弱  
精神科通院医療費が1割負担になる公的制度 (自立支援医療) もお使いいただけます
- ・入院治療費は、2か月で36～40万円程度  
高額診療費制度による医療費軽減制度もお使いいただけます

詳しくは当院精神保健福祉士・医事にお尋ねください。

## ○交通案内



### ○公共交通機関をご利用の方

- ・京浜急行「京急久里浜駅」から野比海岸行/  
久里浜医療センター入口 (15分) 下車 徒歩1分
- ・京浜急行「京急久里浜駅」から  
「久里浜医療センター」行き  
久里浜医療センター (12分) 下車 徒歩1分
- ・JR横須賀線「久里浜駅」から野比海岸行/  
久里浜医療センター入口 (15分) 下車 徒歩1分

## ○連絡先

神奈川県横須賀市野比5-3-1  
国立病院機構  
久里浜医療センター  
電話：046-848-1550 (代表)  
<https://kurihama.hosp.go.jp/>



左記QRコードをスマートフォン等携帯端末で読み取り、表示されたURLにアクセスすると、当院のギャンブル部門のページをご確認いただけます。



## 久里浜医療センター

## ギャンブル依存 (ギャンブル障害) 治療案内

〒239-0841

神奈川県横須賀市野比5-3-1  
TEL 046-848-1550 (代)



## ギャンブル依存の治療について

当センターでは、2013年6月よりギャンブル依存（正式にはギャンブル障害）の治療研究部門を開設しました。

“ギャンブルの問題”は、長年にわたり個人の道徳的観念の欠如や意思の弱さが原因であるとされてきましたが、近年では、医学上の問題・病気として知られてきています。

すでに国内外で、医学的治療や福祉的支援がギャンブルの問題に効果的であることが多数報告されています。

当センターでは、ギャンブル障害の治療を行うとともに、個々のケースに応じて地域の関連機関等と連携をとり、必要な支援をご提案しております。

\*個人情報などの秘密は、厳守致します。



## 外来治療

### 外来治療の例



## 入院治療

### 1週間のプログラム例

(月)	講義 回診 スポーツ	
(火)	WRAP マインドフルネス	
(水)	アンガーマネージメント 認知行動療法	
(木)	SST 勉強会 GAメッセージ（月1回）	
(金)	講義 作業療法（選択） 患者交流会（月1回）	
(土日)	* 外泊訓練 * 経過により判断	

\* 適宜、身体面の検査、精神保健福祉士の面接、心理検査、カウンセリングなどを行います。

\* 入院期間は概ね2ヶ月程度ですが、病状により異なります。

## プログラムについて

### 認知行動療法（CBT）

自分の認知・行動・対人関係パターンなどを客観的に見つめて理解し、整理していきます。また、自分の問題や課題への対処方法を身につけ、再発予防につなげていきます。

当院では、ギャンブル障害に特化したテキストを用いて、プログラムを行っています。

### SST（Social Skill Training）

社会関係・対人関係を中心に扱います。例えば、ギャンブルに誘われた時にどう対処するのが望ましいかなどを検討していきます。

### WRAP（Wellness Recovery Action Plan）

「元気回復プラン」と訳されます。精神疾患の治療プログラムとして広く用いられています。

### 勉強会や講義

各回、各職種スタッフによりレクチャーを行います。内容は、ギャンブル依存を中心とした依存症の医学的な説明、基本的な特徴や症状、合併症、治療や回復への取り組み例、金銭面、社会生活面、ストレス、心身の健康、などです。

